

# 六月十九日

太宰治

青空文庫



なんの用意も無しに原稿用紙にむかった。こういうのを本当の随筆というのかも知れない。きょうは、六月十九日である。晴天である。私の生れた日は明治四十二年の六月十九日である。私は子供の頃、妙にひがんで、自分を父母のほんとうの子でないと思ひ込んでいた事があつた。兄弟中で自分ひとりだけが、のけものにされているような気がしていた。容貌がまずかつたので、一家のものから何かとかまわれ、それで次第にひがんだのかも知れない。蔵へはいつて、いろいろ書きものを調べてみた事があつた。何も発見出来なかつた。むかしから私の家に入出している人たちに、こつそり聞いて廻つたこともある。その人たちは、大いに笑

った。私がこの家で生れた日の事を、ちやんと皆が知っているのである。夕暮でした。あの、小間で生れたのでした。蚊帳かやの中で生れました。ひどく安産でした。すぐに生れました。鼻の大きいお子でした。色々の事を、はつきりと教えてくれるので、私も私の疑念を放棄せざるを得なかつた。なんだか、がっかりした。自分の平凡な身の上が不満であつた。

先日、未知の詩人から手紙をもらつた。その人も明治四十二年六月十九日の生れの由である。これを縁に、一夜、呑まないか、という手紙であつた。私は返事を出した。「僕は、つまらない男であるから、逢えばきつとがっかりなさるでしょう。どうも、こわいのです。明治四十二年六月十九日生れの宿命を、あなたもご

存じの事と思います。どうか、あの、小心にめんじて、おゆるし下さい。「割に素直に書けたと思った。



# 青空文庫情報

底本：「太宰治全集10」ちくま文庫、筑摩書房

1989（平成元）年6月27日第1刷発行

1998（平成10）年6月15日第4刷発行

底本の親本：「筑摩全集類聚版太宰治全集第十卷」筑摩書房

1977（昭和52）年2月25日初版第1刷発行

初出：「博浪沙 第五卷第七号」

1940（昭和15）年7月5日発行

入力：増山一光

校正：土屋隆

六月十九日

2005年11月24日作成

2017年3月19日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。



六月十九日

太宰治

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>